

# any

ars nova yamaguchi

「エニー」

Winter 2021

JAN.-MAR.

# 114

特集

Co.山田うん「コスモス」



まだない形のダンスを目指して。





「モナカ」(KAAT 神奈川芸術劇場、2015年) © Naoshi Hatori

## 世界で活躍する 実力派が揃う。

「Co. 山田うん」についてどんなカンパニーなのかをお聞かせください。

現在は20代前半～30代後半の男性8名、女性5名の合計13名のダンサーが所属しています。世界で活躍する実力派の粒ぞろいです。一人一人個性が際立っていて、得意とする技術や知識、役割も違って、それがカンパニーの高いエネルギーを生み出しています。舞台以外では、チームに分かれ、学校や施設でワークショップを行ったり、企業イベントや地域活性化のPR、またダンサーとしてだけでなく、役者として、歌い手として、演奏家として、モデルとしてなど、それぞれ様々な形で活躍をしています。カンパニーは組織というより生き物です。柔軟な発想、行動力、個性と連携、寛容さ、多様さを持ちつつ、そこに頼らず驕らず、常に新鮮な状態にしておくことで生きていける怪獣です。

私の創作活動は、複数のダンサーへ振付をすることから始まりました。人間の行動についてや、大勢のダンサーを起用した振付作品を作ることに興味があり、ダンスカンパニーを作ることは自然の流れでした。

音楽、美術、ファッションなど異分野と積極的にコラボレーションされていますね。

コラボレーションは、互いのやり取りの中で、そして質を作る上で何が重要かということについて、多くの気づきがあると思っています。近年ではレストランとのコラボレーションが刺激的でした。お料理やお酒を運ぶようにお客様の目の前にダンスを運ぶのです。コース料理とコンセプトを合わせたりもしましたし、踊りだけでなく歌や芝居、トークを織り交ぜたり、ダンサーがデザートテーブルいっぱいに盛りつけたり、レストランの空間や客層に合わせた内容を作りました。



「いきのね」(あいちりエンナーレ2016) © Naoshi Hatori

# ダンスを 目指して。 まだない形の 山田うん インタビュー

「プレリュード」(世田谷パブリックシアター、2019年) © Hal Kuzuya



どんなに窮地に  
立たされていても、  
必ず明るい道がある、  
救いのある崖っぷちを  
散りばめています。

今回の新作「コスモス」について見どころを教えてください。

「コスモス」はまず映像版を制作し、次に舞台版を創作します。その舞台版の初演を山口で迎えます。

タイトルの「コスモス」は、調和のとれている宇宙の秩序を指します。今私たちが生きている時代は目まぐるしく、大小の事件にあふれ、せわしく、新しいこと、古いこと、苦いこと、楽しみといったゴチャゴチャとした断片がたくさん散らばっていて、一見カオスとも言えます。でも私たちのカオスは巨大なコスモスの断片で

## 特集 Co.山田うん「コスモス」

日本を牽引する舞踊家の一人、山田うん。その彼女が2002年に設立した「Co.山田うん」は10名以上のダンサーが所属するダンスカンパニーだ。その実力は誰もが世界で活躍するレベルだという。そんなカンパニーが新作を携えてついにYCAMに登場。今回発表する新作「コスモス」は東京で映像作品として2020年末に制作・発表されたのち、舞台版としてこの2月に山口で初演を迎える。我々はどんな新作を目の前にすることができるのか、映像作品の制作真っ只中である山田うん氏にインタビューでお聞きした。

す。些細な出来事を顕微鏡で覗くと、その深層にはコスモス(宇宙の秩序)が映し出されています。植物の種が持っている情報のような、渦のような黄金比があるでしょう。

作品は渦を表した群舞から始まります。そして、庭園や病室、食卓といった、あちこちの小さな場所でのフィジカルシアターがあり、そしてその小さな場所がやがて他の場所とオーバーラップし始め、カオスの渦へと突入し、お祭り騒ぎになっていきます。2020年をオマージュした作品でもあります。

ソロ、デュオ、群舞、どこを切り取ってもダンサーたちから発光するエネルギーは鮮やかでユーモラスです。どんなに窮地に立たされていても、孤立していても、必ず明るい道がある、と思える救いのある崖っぷちを散りばめています。ドキッと、スカッとするのはないでしょうか。

作るもの、  
一挙手一投足が  
歓喜の形です。

山田さんにとって「踊る」とはどういうことでしょうか？

7歳の時、民謡に魅せられて踊り始めました。それから器械体操に魅せられて、今度はスポーツ中心になりました。再び踊ることに真剣に向き合っていて、自分が仕事としてダンスをやりたいと思ったのは、会社員生活を経てから。踊りたいというよりも、ダンスを作りたい、ダンスを「今はまだない新しい形にできれば」という発想からです。お稽古事で上手に踊るのでもなく、クラブや盆踊りのようにみんなで楽しく踊るといってもなく、今はまだない形を目指したいなと。踊らなくても踊ったような体験になるような



「プレリュード」(世田谷パブリックシアター、2019年) © Hal Kuzuya



# ダンスに ピッタリ 寄り添う 音楽

## Co. 山田うん Co. YamadaUn

2002年設立の山田うん率いるカンパニー。国内では全国の自治体や公共劇場と連携した舞台公演、教育・福祉施設でのワークショップに加え、まちづくりや特産物PRなどダンスを通して地域を活性化するプロジェクト実績多数。また、飲食・ファッション・ITなど他業界と手を組み、アートと観客の新しい関係性を生み出す事業にも参加。海外ではアジア、中東、欧州、アメリカなど共同製作や招聘公演多数。

ダンスを作れないだろうか、また、社会の中でダンサーや振付家が、未来を作る開拓者として機能できないだろうか。時代を少し先回りして、人々を祝福したり励ましたり慰めたり、また怒りや嘆きも含んだ喜びを生み出したい。作るもの、一挙手一投足が歓喜の形です。

## 音楽家のヲノサトルさんとはよくコラボレーションされていますね。今回はどんな音楽になるのでしょうか？

ヲノさんの音楽は一度聞いたら忘れない、ダンスと一緒に見たときに目にピタッ



「プレリユード」(世田谷ハブリックシアター、2019年) © Hal Kuzuya

と張り付くようなインパクトがあります。初めて聞いたのに「それ知ってる!」と感じる親しみやすさがあり、それでいて甘美で迫力がある。毎回違うコンセプトで楽曲を依頼していますが、今回はいつも以上に場面ごとのテーマに合わせた、ダンスにピッタリ寄り添う音楽をお願いします。「コスモス」は、まず映像版で音楽とダンスの関係ががっつり作り上げてから舞台版へと姿を変えます。ある意味贅沢なプロセス。映像版、舞台版のどちらにも通用するおもしろい音楽です。

## 山口公演に対して期待していることはありますか？

久しぶりの山口公演、とても嬉しく思います。映像版とは違うアプローチをする群舞の描き方や、舞台上のシーンとシーンのオーバーラップなど、舞台の醍醐味がたくさん用意されています。山口公演の初演の日を今からとても楽しみにしています。

## 山田うん YAMADA Un

振付家、ダンサー。7歳より民謡踊り、器械体操を始める。13歳より山崎体育舞踊学院にて舞踊を学ぶ。のちにアスペクト館にて舞踏を学ぶ。1996年から振付家として活動開始。と同時に横浜STスポットに勤務し、若手振付家のためのダンスプログラム企画制作を行う。2002年ダンスカンパニー“Co.山田うん”設立。カンパニーでのクリエイションを軸に、オペラ、合唱、演劇、新体操、ライブ、コンサート、アニメの振付などを手がけている。



© Hal Kuzuya



「コスモス」(東京芸術劇場、2020年) © Naoshi Hatori

## Co. 山田うん「コスモス」

2021年2月28日(日)  
14:00開演(30分前開場)  
会場:山口情報芸術センター スタジオA

[チケット情報]一斉発売 1月9日(土)~  
[料金]全席自由 ※3歳未満入場不可  
前売 一般 4,000円 any会員・特別割引 3,500円  
25歳以下 2,500円 高校生以下 1,500円  
当日 4,500円

## PRESENT

### Co. 山田うん「コスモス」の公演チケットをプレゼントします。

【申込方法】ご希望の方は、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、1月31日(日)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご応募ください。

【あて先】〒753-0075 山口市中園町7-7  
(公財)山口市文化振興財団  
「any vol.114 特集プレゼント」係  
FAX: 083-901-2216 e-mail: any@yfcfp.or.jp  
※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

## ピックアップイベント

### 企画展Ⅱ「中也の住んだ町—鎌倉」

開催中～2021年4月11日(日)  
会場: 中原中也記念館

### 中原中也、最期の238日。

1937年2月、中原中也も東京・市谷から鎌倉の寿福寺境内に建つ借家に転居します。その3カ月前、長男の文也を病で喪った中也は、その衝撃で心身を病み、約2カ月間入院。鎌倉への転居は、愛児との思い出が色濃く残る東京での生活を望まぬゆえの決断でした。鎌倉には友人たちが多く居を構えていました。当時の日記には、彼らとの交友や、気の向くまま読書に耽る様子が淡々と記されています。その静かな生活のなかで、中也は詩の創作やフランス詩の翻訳に取り組みました。しかし、10月に結核性脳膜炎を発病。山口への帰郷を望みながらも鎌倉の地で30歳の生涯を閉じました。本展では、日記や書簡、鎌倉で制作された詩などを通じ、中也が鎌倉で過ごした最期の238日間とはどのようなものだったのか、その軌跡を辿ります。

入館料 | 一般 330円(275円) 大学生 220円(165円)  
※あわせてテーマ展示もご覧いただけます。 ※18歳以下、70歳以上無料 ※( )内は20人以上の団体料金



## 検定 中 也

これで  
あなたも中也通?!



妙本寺総門(戦前の絵葉書)

1937年4月20日、中原中也は、近所に住む友人の小林秀雄を誘って、鎌倉・妙本寺へ、日本一と評される名物の花を見に出かけました。中也は、その日の日記に花見の感想を記し、小林は12年後、「中原中也の思ひ出」と題した文章に、花見をしながら中也と言葉を交わした場面を描いています。二人が見た花は何でしょうか。

- 1 海棠
- 2 牡丹
- 3 藤

答えは6ページ

### 劇団四季ミュージカル「コーラスライン」

完売御礼!

2021年1月15日(金) 18:30開演(17:45開場)  
会場: 山口市民会館 大ホール



photo: 下坂敦俊

### 劇団四季が山口にやってくる!

新作ミュージカルのコーラスダンサーを選ぶオーディションを描いたミュージカル「コーラスライン」。今や上演回数は2,000回を超え「キャッツ」や「ライオンキング」に並ぶ劇団四季の代表的なレパートリーとなっています。一度は開催中止となってしまった山口公演ですが、この冬、待望の上演が決定しました! 舞台上に立つことを夢見てオーディションに挑む若者たち。演じる俳優自身がその厳しさを知っているからこそ、劇中で語られるエピソードがリアリティを帯びて観客に迫ってきます。世界中で愛され続ける名作をぜひご覧ください。

[チケット情報] 完売しました。

### 「山口時代の西田幾多郎の原文を読む・考える」

2021年2月13日(土) 14:00~15:30  
会場: 山口情報芸術センター スタジオB



西田幾多郎(石川県西田幾多郎記念哲学館提供)

### 山口ゆかりの哲学者、西田幾多郎に迫る

日本を代表する哲学者、西田幾多郎をテーマにしたトークイベントを開催します。西田は、1897年から99年まで山口に暮らしており、猛烈な座禅の修行の傍ら、その後の思想展開のすべてを含むような小論を著しました。今回、その小論を参加者のみなさんとともに読みながら、西田が考えようとしたことに迫ります。YCAMでは、西田を中心に形成された京都学派をテーマにした「ホー・ツーニエ新作品展」を2021年4月から開催。本トークイベントは展示会のプレイベントとして行います。

[講師] 佐野之人(山口大学教育学部教授)

[料金] 無料(要申込) [定員] 50名  
※申込方法等詳細はお問い合わせください。

### 劇団うりんこ「はなのき村」

2021年2月20日(土)  
①14:00開演 ②18:00開演(各30分前開場)  
会場: 山口市民会館 小ホール



### 心に花を咲かせましょう

昔々あるところに、心の優しい人々の住む「はなのき村」という美しい村がありました。そこへある日、盗人たちがやってきて…。悪事をたはらぎ、冷たい目で見られてきた盗人の心は、村の住人たちの温かさに触れてどのように変わっていくのでしょうか。児童文学作家・新美南吉の「花のき村と盗人たち」をもとに劇団うりんこが舞台化。人に信用されることや、誰かを許すこと。私たちにとって普遍的なテーマは、子どもたちはもちろん大人の胸にもきっと響くことでしょう。

[チケット情報] 発売中

[料金] 全席自由 ※4歳以上有料  
前売 一般 3,500円 any会員 3,000円(1会員4枚まで)  
25歳以下 2,500円

## わかる! キーワード

【Co. 山田うん】 山田うん主宰のダンスカンパニーの名称。頭につく「Co.」は、「カンパニー」を指すだけでなく、将来、先々の未来では「故」になる、いつも未来から名前を呼ばれているという意味を含んだ「故」でもある。

# any通信

寒い季節は  
心からあったまろう。



## 映画×文学のコラボレーション



「海辺の映画館 キネマの玉手箱」アフタートークの様子 photo: 塩見浩介

10月22日は中原中也の命日。中原中也記念館では毎年、中也忌と称してイベントを行っていましたが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、規模を縮小し、関係者のみでお墓参りをしました。さらに今回は中也忌にあわせて、ワイカムシネマとの連携事業として、中也の詩がたくさん登場する大林宜彦監督の映画「海辺の映

画館 キネマの玉手箱」が10月1日～31日の間、上映されました。10月11日には、中原中也記念館の中原豊館長によるアフタートークも開催。映画の中に登場する中也の詩の解説や大林監督との思い出など、おもしろい話が盛りだくさん。中也に思いをよせながら、映画と文学にひたる秋のひとつになりました。

## 待ちに待った舞台公演の幕あけ!

去る9月25日、26日に、カンパニーデラシネラによる「ドン・キホーテ」の上演がYCAMで行われました。YCAMにとって今年初となる舞台公演。中止や延期が続くなか、「ようやく!」と待ちわびていた方も多くいらっしゃったことでしょう。久しぶりの公演に会場はお客さまからの期待感や熱気で包み込まれていました。本来は台詞があり、演劇と身体表現の

融合が特徴とされていた本作は、今回大胆に言葉を排したことでかえって創造力を豊かに刺激する魅力あふれる作品に。終演後拍手がわきおこるカーテンコールで、カンパニー主宰の小野寺修二さんが挨拶され、コロナ禍において表現することへのご自身の思いを語っていただきました。また会場からの質問や感想にも胸をうつ言葉が届き、温かい気持ちに満たされた2日間となりました。



「ドン・キホーテ」YCAM公演(2020年)の様子 photo: 田邊アツシ

# ARTIST VOICE

アーティスト  
ボイス

## 石黒 寛

(俳優/はぐはぐ☆カンパニー)

カメレオン役者こと石黒寛と、熱血紙芝居師たっちゃんのタッグで、2016年の初演から全国を巡って上演している二人芝居「らくだ」。まだまだ暑さ残る夏の夕暮れ時、山口にも笑いと感動を届けるべくやってきてくれました。この大変な時期に迎えた本公演に、はぐはぐ☆カンパニー代表の石黒さんはどのような思いで臨まれたのでしょうか?

## 優しさに包まれた喜び



コロナ吹き荒れる中を呼んでくださった劇場のみなさんに逢える。その喜びに浸りながら前夜は宿の部屋で自粛しました。真夏の例会となりましてね。搬入時、車の外気温度計が43℃だったのを憶えています。そんな中、涼しい顔で楽しそうにセッセとお手伝いしてくださったみなさん。もう嬉しすぎて旅行気分であ

りました。お昼ごはんの瓦そば、そして名古屋の我々に自信満々の外郎...うん確かに、特別美味でありました。ソーシャルディスタンス・バージョンでご覧いただきました。忘れられないのが拍手です。活字にするのは難しいですが、涙が出るほど温かかったです。あんなにアツカな拍手は、優しい心で生きてないとできません。どんなに困難であろうと続けていこうねと背中を押していただいた、忘れられない公演となりました。ありがとうございました。また、お逢いしましょうね。約束ですよ。その日を楽しみに、ニヤニヤしながら、うちで瓦そば食べて待っています。

## はぐはぐ☆カンパニー「らくだ」

2020年8月30日



フグにあたって死んだ“らくだ”と呼ばれる男の兄貴分とくず屋が繰り広げる古典落語「らくだ」をベースに、時代背景を江戸時代から昭和13年へ、登場人物をくず屋から紙芝居師に大胆アレンジして二人芝居として上演。長らく続く自粛生活の中で久しぶりの観劇を心待ちにしていた山口の観客に心温まる熱演で応え、たくさんの笑いを巻き起こしていた。またラストは人情溢れる展開に涙を誘うシーンも。会場がひとつになり、感動を分かちあうことができる「観劇の喜び」を再認識させてくれる舞台公演となった。

## 石黒 寛 ISHIGURO Hiroshi

1985年、中日劇場にて初舞台。ラジオ・テレビ・ナレーション・舞台など幅広く活躍するなか、東海ラジオ「石黒寛です、みんな元気か!」で2年半パーソナリティを務め中高生の兄貴的存在に。2005年、企画創造チーム「ひと組(ひとぐみ)」を設立。08年、「はぐはぐ☆カンパニー」を立ち上げる。12年、松原英治・若尾正也記念演劇賞を受賞。



© 2020 Laboratory X, Inc

## 「精神0」

(2020年/日本/128分/カラー)  
[監督] 想田和弘 [出演] 山本昌知、山本芳子

「精神0」は、心の病とともに生きる人々の悲喜こもごもを描いたドキュメンタリー映画「精神」(08年)の主人公の一人、精神科医・山本昌知に再びカメラを向けた作品です。山本医師は、様々な生きにくさを抱えた人々が孤独を感じることなく地域で暮らしていける方法を長年模索し続けてきました。82歳にして突然引退し、妻・芳子さんと二人の新しい生活が始まります。医師という地位から離れ、一人の人間としてどう生きていくのか? 老いてゆく夫婦それぞれがたどる道、誰もが通る道です。二人が歩いていく後ろ姿と

ともに、「共生」という言葉が頭から離れずにいます。ソーシャルディスタンスが重視されている昨今ですが、「心と心が繋がればいいんだよ」と強く穏やかに励ましてくれる夫婦の純愛映画です。

前原美織(YCAMシネマ担当)

2021年1月16日(土)～31日(日)

※期間中、休映日あり。

上映開始時間等はお問い合わせください。

会場: 山口情報芸術センター スタジオC

[料金] 一般 1,300円

any会員・25歳以下・特別割引 800円

※1/16(土) 想田和弘監督トークあり

# の読書窓

マッド・ガイドウォーターの岸辺にはハリネズミのように小さくて不思議な生き物・ヤービとその一族が暮らしています。ひっそりと過ごしていましたが、ある時、岸辺の近くで教師をしているウタドリさんと出会います。岸辺での暮らしは厳しいけれど楽しいこともたくさんあり、生きるために大切なことを教えてくれる1冊です。

三木里美(山口市立中央図書館 職員)



## 『岸辺のヤービ』

著者: 梨木香歩

2015年発行/福音館書店

# INFORMATION

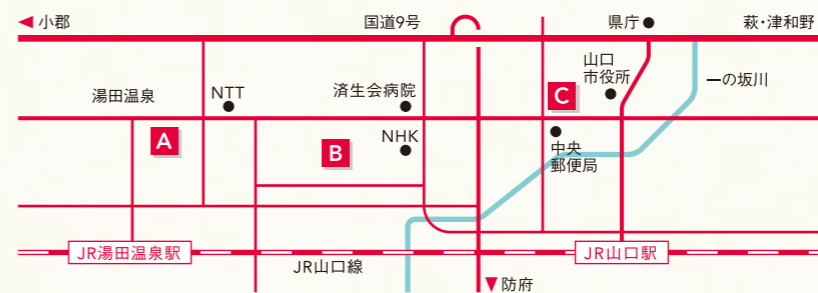
## ■公演チケット予約方法

山口市文化振興財団チケットインフォメーション (山口情報芸術センター内)

TEL. 083-920-6111 10:00～19:00  
※火曜および12/29～1/3休館

インターネット (24時間受付)

<https://www.ycfcp.or.jp/>



公益財団法人

山口市文化振興財団

Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

〒753-0075 山口市中園町7-7(山口情報芸術センター内)

TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216

www.ycfcp.or.jp zaidan-info@ycfcp.or.jp

## 【新型コロナウイルス感染症対策について】

発熱など風邪の症状のあるお客様は、ご入場をご遠慮ください。ご鑑賞前に消毒液のご利用やこまめな手洗いをお願いします。ご来場の際はマスクの着用をお願いします。場内は可能な限り換気を行います。万が一感染者が発生した場合は、お客様の個人情報を公的機関に提供する場合がございます。あらかじめご了承ください。今後の情勢により、公演の開催が変更または中止になる場合がございます。

## A 中原中也記念館

〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21  
TEL. 083-932-6430 / FAX. 083-932-6431  
[開館時間] 9:00～18:00(入館は17:30まで) [5～10月]  
9:00～17:00(入館は16:30まで) [11～4月]  
[休館日] 月曜(祝日の場合は翌日)、毎月最終火曜(変更あり)、年末年始  
www.chuyakan.jp

## B 山口情報芸術センター[YCAM]

〒753-0075 山口市中園町7-7  
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216  
[開館時間] 10:00～20:00(夜間イベントのある日は22:00まで)  
[休館日] 火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始、臨時休館日  
www.ycam.jp information@ycam.jp

## C 山口市民会館

〒753-0074 山口市中央2-5-1  
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488  
[開館時間] 8:30～17:15 [休館日] 年末年始  
www.yamaguchi-civichall.com

any vol.114

Winter 2021 (JAN.-MAR.)

令和3年1月1日発行

発行:公益財団法人山口市文化振興財団 本誌記事の無断転載を固く禁じます。

any(エニー)とは、ラテン語の「新芸術(=ars nova)」と「山口(yamaguchi)」の頭文字を組み合わせた言葉です。



公益財団法人  
山口市文化振興財団  
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion